

視聴覚教育

No. 205

発行日 6. 9. 1

発行 岡崎市AVL

編集

広報委員会

視聴覚キーワード

『スチルビデオ』
電子カメラで静止画を撮影したり、デッキで放送番組やビデオ映像の一場面を静止画で記録し、テレビ受像機に再生する装置。動くビデオ映像と区別して、スチルビデオという。

り出すことのできるビデオ・オン・デマンドといわれる機能。そして、もう一つがテレビ会議システムであると聞いています。

この二学期末には、実験校でのビデオ・オン・デマンドによる授業も開始されるとのこと。

市役所の一室にあるフルネットワーク支援センター（基地）には、サーバー（映像・ソフト蓄積装置）・デジタルビデオ編集装置・コンピュータなどが設置され、学校の教室にある端末機の操作一つで、必要な映像が瞬時に教室のテレビで視聴できるといふものです。

子供たちの驚きと喜びの姿が、今から目に浮かぶようです。

二つ目のテレビ会議システムでは、テレビ会議はもちろんのこと、各学校間の情報交換やテレビ生徒会など、その活用への夢は、大きく大きく膨らんでいきます。

国内、どの都市にも見られない新しい試みであるだけに、その開発研究への難しさを強く感じます。



|| 視聴覚教育あれこれ ||

夏季実技講習会

学校が夏休みに入った七月下旬から八月月上旬にかけて、視聴覚関係の実技講習会が次のように開催された。

十六ミリ映写機操作認定講習会

七月三十日

於 太陽の城

十六ミリ映写機の取扱資格者の養成を目的とした講習会に、社会教育関係三十名、学校教育関係七十二名の参加があった。今年度より一日だけの講習となったが、映写機の台数を増やしたり、操作方法を説明したビデオの制作・放映などで、中身の濃いものとなった。

VTR実技講習会

八月一日・二日

於 六名小・太陽の城

今年度より、初級コース（一日のみ）と中級コース（二日間）に分かれて行われた。初級コースでは、台本にそって撮影をし、作品を仕上げた。中級コースでは、従来通り、撮影したものを編集し作品にした。各班とも、短い時間を有効に使い、力作ぞろいであった。

校内放送講習会

八月四日

於 太陽の城

山中小学校・南中学校の実践報告、細川小学校・六ッ美北中学校の放送番組発表があり、委員会・クラブ活動の参考となった。講演と指導は、NHK名古屋放送局チーフアナウンサーの吉田広氏にお願いした。基本的な発声方法を教えていただき、大変好評であった。

マルチメディア 学校教育での活用

竜美丘小学校長 牧野伊佐夫

電話やテレビ・パソコンなどの多様なメディアを統合的に利用して双方向でやりとりのできる情報通信の本格的な普及が、今始まろうとしています。

岡崎市では、国内初めてという大規模双方向フルネットワークシステムの研究開発が市教育委員会・市企画課の手によって、既にスタートしました。

将来的には、一般家庭への普及を目指しているものと思いますが、第一段階として学校教育での活用に視点が当てられています。実験校となる市内小中学校三十校には、既に光ファイバーケーブルによる配線工事も着々と進められ、教室への端末装置の設置も間近と思われます。今回のマルチメディア研究開発では、二つの大きな内容を上げています。

一つは、ユーザーが希望する映像を即時に取

大型テレビで鑑賞の授業を

六ッ美中部小学校 竹内 俊文

テレビのスイッチを入れ、子供の書いた作文を教材提示装置にのせた。子供たちは「だれの作文だ。」「○○君のじゃないの。」「うまく書けてるじゃん。」などと言いながら真剣な表情で画面に見入っている。

昨年度の末、本校には二九型テレビが七台入った。これですべての教室で大型テレビが使用できるようになった。二九型テレビはさすがに大きく、教室の端からでも細かな物をはっきりと見ることが出来る。鉛筆の字も見やすく、作文の鑑賞で活用することもできた。今までの鑑賞では、友達作品を全員で見合うことができなかったが、このテレビを使うことでそれらは解消された。

子供が書いたままの作品を使い、作品の良い点、悪い点だけでなく、語句の使用方や誤字なども確認することが出来る。また、手軽で映写幕などの準備が不要なこともあり、授業だけではなく、昼



の放送や学級会、行事などでも、今までできなかったことが可能になって、活用の範囲が広がった。今後も、大型テレビの特性を生かし、更に活用の幅を広げていきたい。

二期から、各教室にビデオデッキが設置される。他にも新しい機器が導入される予定である。各機器の有効な使用法を研究し、授業研究で実践することで校内の機器利用を活発にしていければと思う。

II レッツ トライII

ビデオカメラの活用

中学一年の理科では、光の反射や屈折の学習をする。この学習で行う実験の多くは、自分の目でいろいろな現象を確かめるものである。この時、ビデオカメラを人の目の代わりとして利用すると大きな効果を得ることができる。

教科書にも紹介されている実験であるが、空のおわんにコインを入れ、そのコインが見えないようにおわんの中を斜め上方からビデオカメラで撮影する。そのおわんに水を入れると、コインが見えてくる。生徒は、まるで手品を見るようであった。その後、実際に自分の目でも確かめてみたが、「なぜだろう」という疑問を強く持って実験に取り組んでおり、生徒に学習課題を持たせるには、十分な効果があった。

同様に、地球からみた月や星の動きを学習するときにも、ビデオカメラを活用できるのではないかと考えている。(常磐中 黒野 峰幸)

ライブラリーだより

☆自作TP作品募集

市内の幼稚園や小中学校に勤務する先生方の自作したTP教材を募集しています。

・規定

- (1) 一時間または一単元で、教科・領域は自由
- (2) 一人一作品で、TP枚数は制限なし
- (3) 未発表のもので、作成方法は自由

・応募方法

- (1) TP一枚ごとに校・園名、氏名を記入
- (2) 応募個票一枚を厚手の封筒の表に貼付
- (3) 応募個票六枚とTPを同封

・応募先

岡崎市視聴覚ライブラリー 十月十一日必着

☆自作仮編集

本年度から自作ビデオ教材の制作をすべてベータカムで行うことになりました。撮影機材も4セットを用意することができ、さらに美しい映像を得ることが出来ます。

七月二十二日からベータカムの編集機を使っている仮編集作業が始まりました。精度が高く、テロップや図表もキレがよくなっています。

